



JOSE ANTONIO LEMA JIMBO
のプロフィール

名前：ホセ アントニオ レマ ヒンボ
年齢：60歳
国籍：エクアドル共和国（オタバロ町）
職業：政治家、音楽家

1958年2月にエクアドルのインディヘナの町オタバロで生まれる。両親はエクアドルの特産である編み物を生業としており、二男として生まれる。

UNIVERSIDAD DE CATOLICAでホテル&ツーリズム学科を卒業後、南米音楽であるフォルクローレ音楽を習うようになる。

また当時より問題のあったメスティソ（白人とインディヘナの混血）とインディヘナ（純血）との人種問題が多発しており、インディアンへの地位向上のため、様々な集会を行い、人種差別撤廃に向け活動をしていた。

インディヘナたちは編み物から様々な服などを作成し、それが商売になっており、ホセアントニオレマヒンボとその仲間たちで1987年に“UNAIMCO”というインディヘナの商売を守るための組合連合を立ち上げ、現在の“PLAZA DE PONCHO”の原型になる。

1990年代に初めてアメリカのニューヨークに行き、オタバロの編み物（セーター、ポンチョ、マフラー、手袋など）を路上で販売し、その展示会で初めてフォルクローレ音楽を披露する。ヨーロッパ（主にオランダ）ではフォルクローレを路上ライブなどの音楽活動を行い、オランダのラジオ局“ESTUDIO 88”で生演奏や、ラジオ局よりCDを作成して、販売を始める。その当時はヨーロッパではフォルクローレ音楽の認知度は高くはなかったが、その後とても重宝された音楽に成長。

その時のグループ名は、“OTAVALO MANTA”で7人で構成されており、リーダーを務めた。扱う楽器は主にケーナ、チャランゴ、サンポーニャ、ギターなど。

2007年から2年間、在マレーシアエクアドル領事館にて1等領事館員として赴任し、現在は生まれ故郷のオタバロ町に戻り、政治家と音楽家として町の経済や地域活性に向けて活動を行い現在に至る。